

# し方 ~人と自然を楽しむ~

## 農家民宿

### 農家民宿 美の里(さつま町)

さつま町の「農家民宿 美の里」は、長年、旅行関係の仕事をしていた西之原<sup>にしの はらいぎる</sup>さんが、“箱物を観る”という旅行から“目で見て触って”という田舎の自然を生かした体験ツアーをしていきたいと、平成21年に開業した。

旬の野菜の収穫や、タケノコ掘りなどが体験できる「美の里」の体験メニューの目玉は、シイタケのコマ打ち。シイタケの栽培方法を知らない都会の子どもたちには、忘れられない思い出になると人気だ。「個々の農家が通年で受け入れを行うことは、体験メニューによっては難しいので、自分の所で体験メニューがないときは、ほかの農家に受け入れをお願いします。さつま町では、地域全体をホームグラウンドとして、現在9軒ある登録農家で協力しています」と西之原さん。

教育旅行をはじめ、一般の方を対象にした受け入れを行っている「美の里」では、「普通の農家の生活を楽しんでもらいたい」と、食事の準備などお客さんと一緒にしている。「修学旅行生や親子連れ、大学の先生といろいろな方との出会いがあり、さまざまな話を聞くことができる時間が私にとっても貴重で楽しみです」と西之原さん。築100年を越える宿では、夕食後には、昔懐かしいいろりを囲みながら話に花が咲く。

#### 【問い合わせ先】

さつま町役場農政課(さつま町グリーン・ツーリズム研究会事務局)  
☎0996(53)1111(内線2422)



「体験や農家民宿の受け入れには、新米の気持ちをお忘れしないことが大切だと思います。慣れは、手抜きと事故のもとですから」と話す西之原さんご夫婦



シイタケのコマ打ち体験

### 元気印の菜園畑(鹿屋市吾平町)

人と自然、農業が大好きという堀之内<sup>ほりの うちさとる</sup>さん、節子<sup>せつこ</sup>さん夫婦が鹿屋市吾平町で経営する農家民宿「元気印の菜園畑」。県の農村婦人研修で初めてヨーロッパを訪れた節子さんが、農家民宿に出会い、言葉がわからなくても心が通じ合うという農家民宿の魅力に魅せられ、平成19年に開業した。

稲作、園芸を営む堀之内さんご夫婦のところには、県内外からたくさんの宿泊客が訪れる。「子どもや親戚が帰ってきたような感覚です」と話す節子さん。農業を初めて体験する小学生や、家族連れのほかにも海外からの農村研修や青年海外協力隊の研修も受け入れている。

人と人との交流が大好きという節子さんにとって、異業種の方々に会うことが何よりも楽しいと話す。「農業について情報をもらうだけでなく発信していきたい。来て、見て、農業の現状を知ってもらい、そのための活動の一つにもなっていけたらいいですね」と節子さん。

今後は、農業をもっと身近に感じてもらえるように郷土料理を作る加工施設を作り、農業体験プログラムなどにもチャレンジしていきたいと語ってくれた。

#### 【問い合わせ先】

元気印の菜園畑  
鹿屋市吾平町上名 2949-2  
☎0994(58)7025



「野菜嫌いの子どもでも自分で収穫、調理する喜びを知ること野菜を好きになるんですよ」と節子さん

鹿児島の食や豊かな農山漁村は、鹿児島が全国に誇る魅力の一つ。また、子どもや孫を迎えるような家庭的な雰囲気を受け入れが鹿児島の農家民宿の魅力になっている。

### 離島でもグリーン・ツーリズム かごしまの離島はおもしろい!!

鹿児島県は、離島関係市町村数、離島人口および離島面積が全国第1位という全国でも有数の離島県。

海に山にと美しい自然に囲まれた鹿児島県の離島でも、生活体験としての農家民宿、自然文化体験としてのエコツアーなどが行われている。農業や、安心できる食、豊かな自然と個性的な伝統文化を生かした離島のグリーン・ツーリズムも楽しんでみては。

# 農産物直売所

# 新しい余暇の過ごし

## 地域の情報発信基地 蒲生町物産館 くすくす館あいらかもろ (始良市蒲生町)

県内には、地元で採れた新鮮な農産物を生産者から直接購入できる直売所が多数ある。

平成15年4月に蒲生町が主体となってオープンした始良市蒲生町の「くすくす館」では、農林水産物・加工品・工芸品などを販売。蒲生町内の100軒を超える登録農家から、毎日新鮮な野菜などが搬入されている。

来場者は、年間約19万人、蒲生町内をはじめ、近隣の鹿児島市内などからも訪れる。「店頭に並ぶ商品は、全て蒲生町内で生産されたもの。「蒲生町産」ということに安心して購入されるお客さまや、生産者の方を指定して購入される方も多いです」とオープン当時から店長を務める内村昌紀さんうちむらまさき。くすくす館のオープンの影響で、農作物の生産量が年々増えているという蒲生町では、店頭販売のほかにも、平成23年4月からは、新鮮野菜をはじめ地元で作られた加工品などをインターネットで販売するネットショッピングをスタートさせ好評を得ている。

「野菜がどのようにしてできるか知らない子どもたち向けに、遊休農地を利用した野菜作りができないかと計画中」と内村店長。今後は、農業体験にも力を入れていきたいと語ってくれた。



きれいさ、見やすさ、買い物のしやすさなどを追求した店内



旬の食材を使った手作りババロア (左:玄米、右:マンゴー)



野菜ソムリエの資格を持つ内村店長により、月に1度、料理教室が開催される



「店内のポップ表示は、野菜の効能や、名前の由来などを記載し、野菜を身近に感じてもらえるように工夫しています」と内村店長

### 【問い合わせ先】

蒲生町物産館 くすくす館

始良市蒲生町上久徳2539-1 ☎0995(54)3099 営業時間:午前9時~午後6時(年中無休:12/31、1/1~1/3を除く)

# 農家レストラン

## 野菜の味を楽しめる バイキング 農家レストラン七菜ななひおきふきあげ (日置市吹上町)

農林漁業者が、自ら生産した農産物や地域の食材を加工・調理して料理を提供する農家レストラン。

店舗近くの自家農園で大切に育てた野菜、米、小麦粉を使った料理を提供する日置市吹上町の「農家レストラン七菜」。レストランを始めたきっかけは、オーナーの西園紀美子にしそのきみこさんが、平成5年に県が企画した農村婦人研修でフランスを訪れたこと。農家の石蔵を改装したレストランに出会って以来、「いつかは自分も」という18年越しの思いが実現し、昨年10月にオープンした。

新鮮な野菜を使用したバイキングメニューは、約30種類。テーブルには、旬の食材を使用したメニューが所狭しと並ぶ。おしゅうとめさん直伝という西園さんの料理は、素朴で懐かしさを感じると好評。料理に魅せられて何度も訪れるリピーターも多い。

ご主人のかずゆき一幸さんが丹精込めて作る朝取りの野菜は、素材の味が引き立つシンプルな味付けで調理され、お年寄りから小さな子どもまで安心して食べられると評判。「小さな子ども連れのお客さまから、『ここに来ると本物の野菜の味を教えられる』と言ってもらとうれしい」と西園さん。

「お客さまが、おいしいと言って、また別のお客さまを連れてきてくれることが楽しみ。朝から晩まで大忙しの毎日ですが、長年の夢が実現してとても幸せです」と語ってくれた。



駐車場の空きスペースにソバ打ち体験ができる施設を作りたいと話す西園さん



自慢料理の「がね」と煮染め。がねの衣にも自家製の小麦を使用している

### 【問い合わせ先】

農家レストラン七菜

日置市吹上町中之里野間ヶ平2938-1 ☎090(9594)0491 営業時間:午前11時~午後2時(水曜定休)